

一般質問



宮本 議員

○水中考古学国立海洋文化財研究所の建設について

質 国の事業として水中考古学の学術研究所と元寇博物館及び遺物の復元施設が一体となった海洋文化財研究所の建設を本市に誘致すべきと考えます。市としてはいつまでに構想の青写真を描こうとしていますか。また、その青写真をもとに県や国に対する陳情要望活動をいつから行う考えですか。

答 施設については、国の水中考古学の専門研究機関と博物館機能を備えた施設及び遺物の保存処理等をあわせた施設の建設を考えています。建設にあたっては県と一緒に国へ働きかけ、国策として取り組んで頂きたいと考えます。青写真の作成については、鷹島海底遺跡調査指導委員会や多くの研究者、市民の方からのご意見をお聞きし、県と連携して取り組んでまいりますので、相当の時間を要することをご理解頂きたいと思います。

質 本市に我が国の水中考古学の拠点構想をという認識があるのならば、市長は、市役所内に海洋文化財研究

所建設誘致の対策室を設置したり、市議会に対しても何らかの対応を要請するとか、そのような考えはありますか。

答 皆様からのご意見をもとに施設整備の基本構想案をしっかりとまとめ、国への要望活動の際には、行政だけでなく市議会ほか関係者が一体となって国や国会議員等への陳情活動を展開したいと考えております。

○韓国・木浦との交流について

質 水中考古学の先進地、韓国の木浦に私たち議員も視察調査に行き、韓国海洋文化財研究所長からも非常に関心があり協力できることは一緒にやっていきたい旨のお話を伺いました。本市の市長も自ら木浦に行かれて、構想のイメージをつくられたらどうですか。水中考古学を通じて日韓の平和貢献のためにも先頭に立つて早急に訪問すべきだと思えます。

答 水中考古学の拠点づくりに関しては、市長として先頭に立つて動いていきたいと思っております。ご提案がありました韓国木浦の視察については、実際に自分の眼で見てイメージを築くことも有意義だと思います。視察の時期については、いつの時期が適当なのかを検討してまいります。

一般質問



武辺 議員

○まち・ひと・しごと総合戦略について

質 昨年12月に閣議決定された国の総合戦略には今後の予算措置などについて不透明な部分がありますが、地方版総合戦略策定に向けた本市の今後の計画はどうなっていますか。

答 人口ビジョンを策定し、それを踏まえながら9月を一つのめどとして総合戦略の策定を進めていこうと考えております。

質 P（計画）D（実施）C（評価）A（改善）サイクルをどのように機能させようと思っておりますか。

答 これまで以上にそのサイクルを生かしながら事業を進めてまいります。

質 地域おこし協力隊を募集する際の業務内容、募集対象、雇用形態、待遇及び福利厚生等はどうのように考えていますか。

答 2名を募集し、採用する予定ですが、業務内容は、農漁村地域に入ってもらい、地域が抱えている課題等の掘り起し、あるいは地域が優先して解決していききたいことなどを中心に取り組んで頂きたいと考えております。

質 松浦市総合計画を検証すれば、本市が抱えている問題がある程度見えてくるのではないかと考えますが、具体的にどのような検証を行うのかお聞かせください。

答 総合戦略と総合計画の検証作業を同時並行して行っていきたいと考えております。

○子ども子育て支援新制度の本格施行に伴う本市の特定教育・保育サービスについて

質 本市の新制度の利用に係る保育料の算定額は、近隣の市町と比較して高額ですか、低額ですか。

答 近隣と比較したときは、若干高めの設定ですが、2人以上保育所に預けている世帯の第2子の保育料を無料に設定しておりますので、全体的には大差はないと考えます。

質 第2子の保育料を無料とする施策は多子世帯に限られた支援であり、子育て世帯への全般的な支援ではないと考えますが、今後、保育料の算定について検討の余地はありますか。

答 現在のところは、今すぐに見直すという考えはありません。

質 市内既存企業の子育て世帯に対する就労体制の調査等を行い、その結果による支援等は考えていますか。

答 企業の雇用状況や労働条件等を十分把握して、環境を充実させるための啓発とか支援に今後、取り組むたいと思っております。